

第19回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成25年1月17日（木） 県庁4階大会議室		
委員 (委員数：5) (出席数：5)	委員長 広瀬 慎一（元富山県立大学短期大学部長） 委員 彼谷 環（富山国際大学子ども育成学部准教授） 委員 島谷 武志（弁護士） 委員 土開 由香（税理士） 委員 中村 和之（富山大学経済学部教授）		
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① □ 富山県の入札・契約制度について ② 平成24年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 平成24年度上半期の一位不動入札、落札率100%入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 平成24年度上半期の低入札状況及び指名停止等の運用状況について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	平成24年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：1,021件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	（事案1） 県営林道道整備交付金 祖父岳線桂原・谷折トンネル工事
	1億円以上	1件	（事案2） 小矢部川流域下水道県単独二上浄化センター溶融炉修繕工事
	2千万円以上	3件	（事案3） 白岩川河川総合交付金樋門工工事 （事案4） 富山県教育文化会館ホール棟南側外壁等改修工事 （事案5） 公害防除特別土地改良 黒部2次地区 第1ブロック第6工区整地工事
指名競争入札		4件	（事案6） 伏木富山港（伏木地区）県単独港湾運河維持修繕荻布護岸補修工事 （事案7） 主要地方道入善朝日線道路総合交付金 取付け道路工工事 （事案8） 富山空港県単独空港整備費消雪設備更新工事 （事案9） 庄発電所（仮称）建設事業 発電所周辺整備工事
随意契約		1件	（事案10） 伏木富山港（新湊地区）荷役機械運営 荷役機械（LLC2号機）連結ピン等取替工事
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	平成24年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていると判断する。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案1の工事について、総合評価方式の技術提案の評価のウエイトをもう少し高めてもいいのではないか。</p> <p>○事案2の工事について、応札可能者数(21者)と比べて、入札参加者が1者しかいなかった理由は何か。また、一者入札は問題がないのか。</p> <p>○事案4の工事について、低入札となった主な要因は何か。</p> <p>○事案7の工事について、指名業者10者のうち6者が辞退している。あまり辞退が多いのもどうかと思うが、予測できなかったのか。</p> <p>○事案4、7の工事について、低入札で落札した工事のため、施工体制の点検等を強化しているとのことだが、工事全体としては行政コストが増えているのではないか。</p> <p>○事案8の工事について、1回目及び2回目の入札では落札者が決まらず、随意契約となったが、入札参加者の積算とどの部分で差があったと考えられるか。</p>	<p>総合評価方式については現在試行中であり、技術提案の評価については、試行結果を踏まえ、今後検討してまいりたい。</p> <p>明確な理由は分からないが、本工事は溶解炉施設の修繕という特殊な工事であり、当初設置業者以外の業者は敬遠されたのではないかと推察される。しかしながら、一般競争入札では、競争性が確保されていることから、一者入札は有効としている。</p> <p>長年取引のある業者から使用資材を割安で購入するとともに、一般管理費を削減するなどの経費節減を行ったためである。なお、低入札価格調査を実施したところ、このことによる下請けへのしわ寄せや工事の品質確保に問題はなかった。</p> <p>管内の発注計画をすでに公表していたことから、今後予定されている工事の入札を見据え、今回の入札を見送ったのではないかと推察される。なお、どの業者にどれだけの手持ち工事があるかは把握できないため、辞退者を予測することは難しいと考えている。</p> <p>低入札工事の品質確保のため、検査体制の強化は必要と考えている。行政コストの検証については、今後の検討課題としたい。</p> <p>本工事で使用する一部の材料について、県の積算価格と入札参加者の積算にかい離が生じたのではないか。また、構造物の取り壊しについても、積算上の施工方法の違いによるかい離が生じたのではないかと推察される。</p>
<p>(その他) 次回より、一者入札及び不調・中止案件の状況を報告事項に追加する。</p>	